

くらしき作陽大学鶴声会 会報

# 鶴の声

vol.15  
2025.8

TOPICS

令和6年度 総会開催



## 会長あいさつ



くらしき作陽大学鶴声会

会長 木村 一也

(昭和58年3月 音楽学部音楽学科卒業)

日頃よりくらしき作陽大学卒業生の皆様には、同窓会「鶴声会」の活動に際しまして、ご理解やご支援・ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて昨年、『くらしき作陽大学同窓会「鶴声会」総会』を、11月2日(土)に倉敷市玉島にあります「ホテルセントイン倉敷」で開催いたしました。3年前の「鶴声会」総会は「くらしき作陽大学の原点」でもあり、本学の礎となった地でもある、津山市において開催いたしました。今回は現在ある倉敷キャンパスを見学させていただいた後、総会を開催いたしました。総会には67名の方にご参加いただき、滞りなく議事が進行いたしましたことをご報告申し上げます。総会後にはレセプションも行い、第1期生の皆様をはじめ各期の卒業生の方々、各学科の先生方や、作陽音楽大学・くらしき作陽大学で教鞭をとられていた先生方にもご参加いただき、楽しい時間を過ごさせていただきました。レセプションの中では記念演奏として、卒業生でもあり琉球古典

音楽歌三線奏者として活躍されている田淵愛子さん(琉球古典音楽安富祖流弦聲会師範)に演奏をしていただきました。田淵さんの演奏を聴き、会場は琉球音楽の余韻に浸り、参加者全員で素晴らしい時間を共有することができました。このような卒業生の方々の活躍は、同窓生としても誇らしく思い、同窓会の今後の活動にもエネルギーをいただいているところでございます。鶴声会といたしましては、今後とも卒業生の方々の活動を支援してまいりたいと思っております。

また、各支部では様々な活動がなされており、コンクールや演奏会、レクチャーコンサート、中高生を対象とした楽器クリニック等、それぞれの支部で特色豊かな活動を行っていただいていることに感謝を申し上げます。皆様には今後とも鶴声会各支部へのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

そして鶴声会を代表し3月の卒業式、4月の入学式にも参加をさせていただきました。卒業式では卒業される皆さんが決意を胸に立派に巣立っていかれる姿に頼もしさを感じ、元氣もいただいたように感じました。また、入学式では初々しい表情の新入生の皆さんに、「新しい出会いを大切に、目標を定め、エンジョイしながら学生生活が出来ますように」と心の中でエールを送らせていただきました。

結びに、卒業生の皆様のご発展と今後のますますのご健勝を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

## 学長あいさつ



くらしき作陽大学

学長 松田 英毅

同窓会の皆さんにはお元氣のことと存じます。

令和7年度を迎え、大学、短大とも元氣な新入生を迎え活気に満ちています。キャンパス内の植物も桜、ツツジと咲きほこり、いまは紫陽花の季節になり、草木一本一本がいきいきとした姿を見せています。

昨年度は、岡山県の中学校音楽教員合格者3名のうち2名が作陽、高校音楽教員合格者2名のうち1名が作陽でした。また、同じく岡山県家庭科教員合格者7名のうち5名が作陽でした。子ども教育学部も小学校教員、特別支援学校の就職にも良い成績をあげ、保育園、幼稚園、子ども園へも希望どおりに就職をしています。

新年度になり健康スポーツ教育学部を開設したこともあり、これまでとはちがった元氣な大学になりつつあります。新学部は、人生100年時代といわれていることから、長い人生を元氣で過ごすことができる身体づくりと、地域社会の人たちが元氣で一生を終える社会づくりに貢献する学部を目指しています。とびめけたアスリート育成ではなく、クラブ活動なども盛んにし、スポーツを楽しんで健康づくりに貢献する指導者・教育者養成の学部です。

現在の学生も、皆さんの学生時代と同様に「念願は人格を決定す継続は力なり」のことばのもとに、ねばり強くがんばる力、思いやりや協調性といった現代社会で大切なことを学んでいます。

現代は便利で物の豊かな社会ですが、日本も世界も心の豊かな社会からほど遠いものになっていると思われます。心あたかな、うるおいのある社会を築く若者を養成するのが本学の使命と考えています。どうぞこれからもご支援ご協力をお願いします。

異常な気候が続くと思われます。元氣でお過ごしください。



## 総会のご報告

令和6年11月2日（土）に鶴声会総会そして懇親会が開催されました。  
一日をお写真と共に、お楽しみください。

### キャンパス ツアー

同窓会副会長片山嘉政の案内によりキャンパスツアーを行いました。初めて倉敷キャンパスを訪れた方も多く、シンボルタワーのある1号館をはじめとする各号棟を順番に巡り、藤花楽堂大ホールの充実した設備には感嘆の声があがりました。聖徳殿では、津山キャンパスから引っ越してきたパイプオルガンを特別に試弾することができ、皆さんとても喜んでおられました。



鳥生慎三愛媛県支部長も初試弾



藤花楽堂ホールにて

### 総 会

『ホテルセントイン倉敷』に会場を移して、総会が開催されました。67名の出席があり、木村一也会長の挨拶に始まり、総会資料に基づき議題が審議され、令和4・5年度事業報告、収支決算報告、令和6・7年度事業計画（案）等、すべての議案が可決されました。



### 懇親会

総会終了後に懇親会が開かれました。会員79名と松田英毅学長をはじめとする来賓の先生方19名の総勢100名近くが一堂に会し、美味しい料理を囲みながら大変盛り上がりしました。



受付の様子



竹内京子音楽学部長からお花をご寄贈いただきました。

乾杯の音頭は幹事の板野直子さん  
（音楽学部教育音楽学科卒業）



次のページへ続く ➡



## 総会のご報告

各テーブルともに  
大いに盛り上がりました!



久しぶりの再会に、会話も弾みました!



左から新名俊樹音楽学科長、音楽学部来賓の矢野勝之先生、  
阿部靖子先生、守屋美枝子先生



左から食文化学部来賓の山下静江先生、食文化部長木村吉伸先生、  
川口洋現代食文化学科長

司会進行は副会長  
片山嘉政さん。  
事務局長  
小山陽介さんが  
補佐役です。



左から杉山貴義短大音楽学科長、福島治子子ども教育学部長、子ども教育学部来賓の浅野泰昌先生(右から二番目)を囲んで  
子ども教育学部来賓の林直人先生、清水真里子先生

懐かしの津山キャンパス映像も流れました♪

### 数々の料理に舌鼓

前菜、洋食、和食、締め鯛めし、デザートフルコースに大満足でした。大変美味だった料理の一部をご紹介します。





このたびの懇親会のメインイベントは『♪田淵愛子さんによるミニコンサート♪』です。

沖縄県在住の田淵愛子さん。2022年に第44回松尾芸能賞で新人賞を受賞され、現在プロ三線奏者として、活躍されています。(2023年発行 会報誌『鶴の声vol.13』で特集)

三線とともに奏でられた琉球古典音楽のメロディーに、全員が聴き入りました。沖縄を訪れたことのある人も、そしてない人も、沖縄の海、風を一気に肌で感じたことでしょう。曲間には、三線の楽器説明や沖縄の歴史に基づいた歌の由来、曲の解説があり、より深く曲を理解することができました。そして何より、田淵さんの琉球古典音楽に対する熱い想いと、古典芸能継承への意気込みを強く感じました。



同窓会をきっかけに同期会として集まった卒業生たちの紹介コーナーもありました

会の終盤には、学園歌を全員で斉唱しました。(現在くらしき作陽大学1回生が、月1回の「月例集会」で必ず斉唱しています)



最後に松井輝善顧問の  
閉会の挨拶で、  
締めくくられました。

手土産は2020年に食文化学部栄養学科生が倉敷市内洋菓子店とのコラボ商品として開発した、スイーツ菓子「咲くらんたん」でした。カリッとした食感がたまらなく癖になる味です。



#### 咲くらんたん

商品名は、作陽のさく、サクッとした食感、笑顔が咲く、花が咲く、幸せが咲く、などの思いが込められています。フロランタンをベースにしています。が、糀、胡麻、黍や大豆など和の食材を取り入れた、体に優しいお菓子です。

#### 若手卒業生の近況報告



#### 幹事の方々、お世話になりました！



## 各支部からの活動報告

### 愛媛県支部 第6回くらしき作陽大学・作陽短期大学 同窓会愛媛県支部 作陽音楽コンクールピアノ部門開催

令和6年11月16日(土)に西条市丹原文化会館にて開催しました。毎年、夏に開催しているため、8月末の開催を準備していましたが、台風の接近により延期を余儀なくされました。

申込開始日には、応募者が定員に達する勢いでした。回を重ねるごとに応募者多数となっており、県外からの応募があるなど、さらなる広がりを見せています。

審査員には、くらしき作陽大学音楽学部長竹内京子先生、准教授土居里江先生、居川寛子先生をお迎えしました。

会場には出演者70名、指導者の方々等、多くの方にお越しいただきました。審査の先生方からは、出演者演奏直後に1分間アドバイスを頂き、大好評でした。

愛媛県支部が企画してから毎年開催しているこのコンクールもすっかり定着し、今年は8月30日(土)に7回目を迎えます。

会場は、同じく西条市丹原文化会館で開催予定です。



コンクール会場での記念撮影



演奏終了後の1分間アドバイスの様子

### 愛媛県支部総会開催の報告

令和6年11月23日(土・祝)に松山市「ネッツTOYOTA愛媛だんだんPARK」にて、令和6年度愛媛県支部総会を開催いたしました。当日は、21名の会員に参加いただきました。

総会では、会計報告、活動計画、作陽音楽コンクール報告、次回支部総会等について協議・報告がなされました。総会後の茶話会では、会員によるウクレレ二重奏が披露され、近況報告など会員相互の親睦が更に深まる時間となりました。

本年度の支部総会は**11月29日(土)**に、「**大学訪問・倉敷美観地区他散策バスツアー**」として実施します。ふるってご参加ください。参加申込み受付は9月1日からで、申込先は愛媛県支部LINEグループのリンクからお願いいたします。ご不明な点は上甲廣文までご連絡ください。TEL 090-2783-0681



### 高知県支部 高知県支部総会開催の報告&コンサートのお知らせ

令和7年1月4日(土)に、高知県支部総会が高知市内で開催されました。今年は作陽高知県人会の発足50周年にあたり、記念事業として「50周年記念コンサート」を8月30日(土)に高知県立美術館ホールで開催します。コンサートでは、恒例の作陽高知県人会合唱団のほか、ゲスト演奏も予定されています。節目の年にふさわしい、感動のステージになるよう尽力いたしますので、皆様ぜひ足をお運びください。

#### 作陽高知県人会50周年記念コンサート

日 時：令和7年8月30日(土) 開場 17:30 開演 18:00

会 場：高知県立美術館ホール(高知市高須353-2)

入場料金：一般 1,000円 高校生以下 500円

\*終演後、別会場にて懇親会を開催いたします(21:00~)

お問い合わせ：作陽高知県人会事務局 尾原公完

TEL 090-8282-4411 Fax 088-878-0178

メール ohara@arpeggio-gakki.co.jp

作陽高知県人会ホームページ



## 卒業生からの活動報告

### 還暦同窓会開催(昭和62年3月 音楽学部音楽学科サクソフォン専攻卒業 幸多 優 鹿児島県出身)

令和6年12月28日(土)・29日(日)の2日間、佐賀県武雄温泉において、くらしき作陽大学音楽学部音楽学科・同学部教育音楽学科・作陽短期大学音楽科卒業の還暦同窓会を開催しました。

十数年前に岡山県湯郷温泉で管楽器専攻の男性が10人程集まった際に、「今度は九州で同窓会の計画をやってよ。」との意見があったので今回の開催にいたりしました。

約1年前からSNSを駆使して広報を始め、学生時代に会話をしたことのない人も、参加の意思を示してくれました。当日は関西、四国、中国、九州の4地区から19人が参加しました。

卒業アルバムと見比べながら会話が弾み、一人一人の近況報告では、学生時代の誰も知らなかったエピソードに笑いあり、涙ありの3時間を共有しました。

二次会は全員でカラオケに行き、懐かしの歌を声楽専攻生の美声で盛り上がりました。そして翌朝、別れを惜しみながらの全員での朝食となりました。

今回の還暦同窓会で、縁と絆が深まり次回は津山で開催したいとの意見が浮上しました。きっとこれで終わらない同窓生の群れであります。



## 卒業生のご活躍

### 音楽学部

### KODA oyako de joint vol. 3 幸多家の愉快で楽しいコンサート

昭和62年音楽学部音楽学科サクソフォン専攻で卒業の幸多優さんが、奥様で同じく卒業生の啓子さん(旧姓津留)と3人のお子様による「KODA oyako de joint vol. 3 幸多家の愉快で楽しいコンサート」を、2024年8月に開催いたしました。

長女的美裕さんは現在フランス在住でサクソフォン演奏家並びに、シャビル音楽院とシャシーニアン=ブリー音楽院で講師として後進の指導にあたっています。次女のmiyoさんは鹿児島を拠点に活動しているダンサーであり、長男の俊さんは2024年8月から東京都交響楽団の打楽器奏者として活躍されています。

芸術一家である幸多家にあって、幸多優さんが還暦を迎えられた記念にコンサートを開催し、これまでを振り返るとともに更なる研鑽を積みたいとの思いを新たにしておられました。



### 2024 かごしま県民第九演奏会

2024 かごしま県民第九演奏会が行われ、昭和54年音楽学部音楽学科卒業の池水成孝さん(バリトン)がソリストとしてステージに立たれました。超満員のホールに池水氏のまろやかで豊かな声が響き渡り、聴衆の方々は聴き入っていました。



池水成孝さん



また、この第九を演奏した鹿児島交響楽団には平成13年音楽学部音楽学科卒業の堂園和也さん(Tp.)、平成17年作陽短期大学卒業の外山友美さん(Trb.)、平成19年音楽学部音楽学科卒業の橋口順一さん(Tuba)が所属しています。



## 卒業生のご紹介

### 食文化学部

**米中純子さん**（旧姓：小林）（平成18年3月食文化学部栄養学科卒業）

#### 大学卒業から20年を振り返って

いきなりですが、学生時代の私の学内模試での成績は芳しいものではなく、どうやら親や先生方に変な心配をかけていたようです。部活動に勤しみ、バイトに励み…「このまま部活動を続けていたら管理栄養士国家試験は…」なんて言われた、と合格発表後に母から聞かされました（そんな話は一切耳には入っていませんでした）。

卒業後、給食委託会社で現場を学び、高齢者福祉施設で福祉に関わり、以前働いていた病院では神経筋疾患や難病系に携わりました。現在は、介護医療院を併設している病院で管理栄養士として働いています。食べている様子を観察するミールラウンドでは、患者さんと話すことや傾聴すること、他職種との関わり方、事前の情報収集の大切さを学びました。良い友人たちに恵まれたので、定期的に情報交換をしたり、仕事でわからないことがあればオススの参考書を教えてもらったりしています。

栄養士を続けるか悩んでいた新卒の時に出会った職場の先輩から「あなたは栄養士に向いていると思う」という言葉は忘れられません。気が付けば社会に出て約20年…涙することも多かったですが、それ以上に笑っています。学生の時に始めた合気道も子育てをしながらマイペースに続けています。

『笑う門には福来たる!!!』とポジティブに楽しく日々成長していきたいと思います。



左から二番目下段が米中さん

### 子ども教育学部

**越智文音さん**（令和5年3月子ども教育学部子ども教育学科卒業）

私は現在、「株式会社ビザビ」にて広告や出版・イベントに関わる仕事をしています。保育士を目指していた私が民間企業へ就職したきっかけは、コロナウイルスによる自粛の時間です。大学1年生の頃は、毎日授業やバイト、遊びの予定を詰め込んで、毎日ただ「目の前のことをこなす」という感覚で過ごしていました。しかし2年生の直前、コロナによる自粛期間を受けた際、友だちに会えず行動も制限されるストレスの反面、時間や心に余裕ができたことで「自分は何が好きなのか」「本当は何がしたいのか」と自分自身と向き合うきっかけとなりました。

コロナが明け、生活が再開した頃には、勉強やアルバイトもただ「こなす」のではなく、やりがいを感じることに、自分の得意なこと何かを意識しながら取り組むようになり、3年生の終わりに「自分らしく働けて、自分だから活躍できる場所をもっと広い視野で探したい」と学生支援室に足を運びました。初めは親や先生に反対されるのではないかとという後ろめたい気持ちがありましたが、有難いことに全員「頑張れ」と、むしろ背中を押してくれました。特に進路支援室の山本先生、ゼミの長濱先生にはたくさん相談にのっていただき、「自分のなりたい・ありたい姿」を探すことができました。

ビザビに入社後は、雑誌の編集やイベントの運営に携わり、自分だからこそできた仕事にやりがいを感じたり、一緒に働く人と切磋琢磨したり、毎日楽しく働いています。これからも関わってくれる人への感謝と、自分自身と向き合うことを忘れず、前向きに頑張ってまいります。



90周年記念イベントを終えて同期との一枚（右から二番目）



学生時代卒業式にて（一番右が越智さん）



## コンクール入選のお知らせ

小島佳世さん(ソプラノ)  
(平成25年3月 音楽学部音楽学科卒業)  
第34回日本クラシック音楽コンクール  
声楽部門一般女子の部 入選



卒業後仕事と2児の子育てをしながら、家族や周りの人達、先生に支えられ演奏やコンクールに頑張るママの背中を子ども達に見せながら歌い続けています。

今回のクラシックコンクールでは自分の声の持ち味を生かし、発揮できるよう心を込めて歌いました。まだまだですが、一つ一つが自信になり更に挑戦していきたいと思います。

私を支えてくれる人達に感謝しながら、これからもチャレンジ精神を忘れず舞台に立ち続けていきたいと思っています。

ベートン音楽コンクール第2位  
長江杯国際音楽コンクール第6位  
日本奏楽コンクール第5位

大西明日香さん(ソプラノ)  
(平成16年3月 音楽学部音楽学科卒業)  
第9回「春の声」声楽コンクール  
プロフェッショナル部門 入選



コンクールでは、自分の持ち味を生かし、曲の魅力を最大限引き出せるよう、精魂込めて歌いました。

この度の挑戦は、大きな自信になりました。大学での先生方の熱心なご指導こそが、私の礎です。その教えを心に刻んで、日々精進しています。

今後は、音楽への裾野が、少しでも広がるような取り組みをと考えています。

2008～2012年 オーストリアウィーンに留学  
2008～2011年 プライナー音楽院に在籍、修了  
最高得点でディプロマを取得

現在、関西二期会 正会員、音楽アンサンブルマーガレット、合唱指導・ヴォイストレーナー、Podcast「音楽人生、その先～」配信中

## 卒業生の皆様 知ってク情報

### ～取得した免許資格を活用されてはいかがでしょうか～

今年度もくらしき作陽大学には岡山県教育委員会から、音楽、家庭科、小学校講師の依頼があります。教育現場では、高等学校臨時教員、小学校時間講師、中学校臨時教員などの教員を望まれています。

2022年7月1日をもって教員免許の更新制が廃止され、教員免許には有効期限がなくなり、生涯有効となりました。新・旧免許状を取得し、免許が失効または休眠されている方も、都道府県教育委員会で再授与申請手続きを行うことにより、有効期限のない免許状の授与を受けることが可能です。

後進の指導に活用されてみてはいかがでしょうか。

## 鶴声会からのお知らせ

### 同窓会名簿等個人情報取扱いについてのお願い

過去に「同窓会員名簿2002 平成14年版」「同窓会員名簿2019 令和元年版」を発刊しております。お持ちの方は、くれぐれも転売、紛失のないようご注意ください。

近年、名簿などを悪用したセールスや詐欺等の被害が発生しているようです。

名簿を購入された会員皆様一人一人の、適切な個人情報の取扱いが重要です。

今後の同窓会活動の運営が円滑に図れるよう、皆様のご協力をお願いいたします。

### 会報誌vol.14の同窓会員住所不明者判明のご協力のお礼

昨年度発刊の会報誌vol.14で、会員住所不明者一覧を記載いたしました。つきましては、多くの方からご協力をいただきました。この場を借りて、お礼申し上げます。

なお、いまだ不明の方が多くいらっしゃいます。お知り合いで会報誌が届かない方をご存知でしたら、ぜひ同窓会事務局までご連絡ください。

鶴声会ホームページからの住所入力も可能です。

HP <https://sakuyokakuseikai.com> ✉ [info@sakuyokakuseikai.com](mailto:info@sakuyokakuseikai.com)



# 鶴声会からのお知らせ

## ホームページリニューアルのご案内

このたび、くらしき作陽大学同窓会 鶴声会のホームページをリニューアルいたしました。

卒業生の活動や演奏会の情報、母校の近況など、鶴声会からのお知らせを随時発信してまいります。また、皆さまからの情報提供も歓迎しております。演奏会やイベント、近況報告など、同窓生同士をつなぐお便りを、どうぞお気軽にお寄せください。

後援申請や住所変更、会報誌の閲覧、幹事会の報告なども、ホームページ上からご利用いただけます。

今後ぜひ活用ください。

### 【新ホームページ】

<https://sakuyokakuseikai.com>

### 【お問い合わせ・情報提供先】

✉ [info@sakuyokakuseikai.com](mailto:info@sakuyokakuseikai.com)



## 新幹事紹介

1995年音楽学部音楽学科を卒業しました松本壮史と申します。

大学を卒業し教員として音楽を通して生徒たちと向き合ってきた30年間。人の心を動かす音楽創りを目指し、自分自身の心が動く瞬間も何度も経験することができました。何よりも、たくさんの「ありがとう」に支えられ、音楽を通してのかけがえのない出逢いは、とても温かく尊いものとなっています。今年度より作陽学園高校に勤務することとなり、同窓会鶴声会の幹事となりました。2030年の学園創立100周年に向けて、卒業生の皆様方と学園を結ぶ懸け橋となれるよう恩返しさせていただきます。よろしくお願いいたします。



松本壮史

このたび、鶴声会の新幹事を務めさせていただくことになりました。2025年3月子ども教育学部子ども教育学科保育園・幼稚園コース卒業の中村華子です。今年度より、くらしき作陽大学財務室に勤務しております。

学生時代は、この慣れ親しんだキャンパスで、かけがえのない時間を過ごしました。緑溢れる学び舎での様々な講義、友人たちと過ごした時間、そして試験期間の徹夜...どれも今となっては、大切な思い出です。卒業してからも、こうして母校に貢献できる機会をいただけることを、心から嬉しく思っています。

鶴声会を通じて、卒業生の皆様方とお会いできるのが今からとても楽しみです。

微力ではございますが、精一杯貢献させていただきたく存じます。どうぞよろしくお願いいたします。



中村華子

このたび、鶴声会の幹事に就任いたしました。2020年食文化学部栄養学科を卒業した近藤亜弥と申します。昨年度よりくらしき作陽大学食文化学部の助手を務めております。卒業から数年が経ち、またこのくらしき作陽大学に戻ってこれたこと、また、鶴声会の幹事として大学の発展に貢献できることを、とても嬉しく思っています。

普段は助手として、先生方や学生の力になれるよう、日々努力しております。未来ある学生たちとの毎日はとても楽しく、業務に追われながらも学生たちから逆に元気をもらえるような、素敵な環境で仕事ができ、とても幸せです。このような環境の中で、私自身ももっと成長できるように、精進してところでございます。

改めて、今回幹事に就任いたしましたので、微力ではありますが、鶴声会の皆様のお手伝いができるよう、頑張っております。どうぞよろしくお願いいたします。



近藤亜弥

このたび、鶴声会幹事を務めさせていただくこととなりました。2006年音楽学部音楽学科卒業の宇佐見朋子と申します。今年度より音楽学部トロンボーン講師として勤めております。私は大学が新倉敷へ移転後に入学しましたが、鶴声会や先生、職員の方々に輪を広げていただき、津山時代のお話や移転前、移転後と幅広い年代の方々とお話をする機会をいただきました。そして、これからは現在の在学学生達が作陽の輪を広げていくことで何かを掴むきっかけになってほしいと願っております。鶴声会の一員として在学生との懸け橋となれるよう精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



宇佐見 朋子





## お悔やみ

### 卒業生

・昭和60年3月音楽学部音楽学科声楽専攻卒業  
北島美香（旧姓 吉谷）様  
※令和7年1月23日ご逝去

・昭和46年3月音楽学部音楽学科クラリネット専攻卒業  
三好雅司様  
※令和7年5月末ご逝去

・昭和46年3月音楽学部音楽学科ホルン専攻卒業  
薄田信人様（鶴声会香川県支部長）  
※令和7年5月22日ご逝去



### 教職員

・丸山桂介先生（非常勤講師）  
2024年2月16日ご逝去  
昭和57年4月6日～平成23年3月28日まで「ピアノ音楽史」等の授業をご担当されていました。



・下山忠良先生（非常勤講師）  
2025年3月11日ご逝去  
電子音楽（重奏）をご担当されていました。

・森悠子先生（専任教授）  
2025年3月26日ご逝去  
2012年～2016年ヴァイオリン実技をご担当されていました。

・門長悦子さん  
2025年ご逝去  
津山キャンパスの職員で、大学食堂で長年勤務されていました。

謹んで皆様のご冥福をお祈りいたします。

## 訂正して、お詫びいたします

2024年8月刊行の会報誌vol.14の「卒業生のご活躍」で、お名前に間違いがありました。

亀井美夢さん → 亀井望夢さん

### Welcom to 同窓会室

くらしき作陽大学倉敷キャンパス11号館内に同窓会室があります。  
私たち幹事は、日々こちらを中心に活動しています。

遠方にいらっしゃる卒業生の皆様。ご旅行など岡山方面にお越しの際は、くらしき作陽大学のキャンパスにもお越しになりませんか？

そして、同窓会室にもぜひ遊びにいらしてください。近況や活動報告などお聞かせいただければ、大変嬉しいです。

もちろん近くにお住まいの方も大歓迎です。

お越しの際は、事前に下記までご連絡ください。

同窓会鶴声会 ✉ [info@sakuyokakuseikai.com](mailto:info@sakuyokakuseikai.com)

TEL 086-523-0888

（くらしき作陽大学代表番号 片山嘉政）



# 鶴声会役員紹介

会 長		副 会 長		常任幹事									
木村 一也		片山 嘉政 窪田 紀之		長瀬 敏和 菅付 章宏		居川 寛子 重利 和徳		鬼本 敏男 藤澤 克彦		宇佐見 朋子 岡本 寧々		佐藤 快音	
常任幹事		幹 事											
近藤 亜弥		元吉 恵子		赤松 英彦 板野 直子		森 博文 奥野 徳雄		松本 壮史 岡村 晃平		杉山 里緒 田井 志帆子		高橋 万由花 堀 愛美	
幹 事		事務局長		事務局				会計（主）・（副）		書 記		監 査	
米村 佳菜子 平松 朋子		小山 陽介 藤木 理子		武田 真理子 舘 一彰		兵頭 奈保 中村 華子		中野 広大 大塚 舞奈		徳永 晶子 川西 友紀子			
顧 問				名誉顧問									
中桐 寛 大林 史明 松井 輝善 井端 豊実 安部 欽也				菊井 勝									

## 各 県 別 会 員 数

(令和7年6月現在)



## 鶴声会事務局からのお願い

お引越しやご結婚等によりご住所、お名前に変更が発生した場合には鶴声会事務局までご連絡ください。また、お知り合いの方で会報誌が届いてない方がいらっしゃれば恐れ入りますが、鶴声会へのご連絡をしていただくようお願いさせていただきます。

鶴声会専用連絡フォームURL [https://www.ksu.ac.jp/form/kakusei\\_contact/](https://www.ksu.ac.jp/form/kakusei_contact/)

大学HP「Topページ」→上部「卒業生の方」→「同窓会」→「鶴声会お問い合わせ・住所変更」とお進みください。



スマートフォンのバーコードリーダーアプリ等で読み込んでいただければご利用いただけます。

## 編集staff

監 修：小山 陽介  
 制 作：片山 嘉政  
 舘 一彰  
 兵頭 奈保  
 藤木 理子

## 編集後記

この度も会報誌作成にあたりまして、ご協力いただきました卒業生をはじめ関係者の皆さんに、感謝申し上げます。全国各地で活躍されている卒業生の近況を知り得ることができ、そして毎年会報誌作成に携わることが出来る喜びを感じております。正直なところ、音楽学部の歴史が長いこともあり、音楽学部卒業生の記事に偏りがちな部分があることは否めません。食文化学部、子ども教育学部卒業生の活躍もたくさん発信していきたいので、情報をお寄せいただけると非常に助かります。皆様のご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。



(旧津山校舎)

## くらしき作陽大学同窓会 鶴声会

〒710-0292 岡山県倉敷市玉島長尾3515

Tel:086-523-0888 Fax:086-523-0811

(くらしき作陽大学代表番号)

[katayama@ksu.ac.jp](mailto:katayama@ksu.ac.jp)

<https://sakuyokakuseikai.com>

